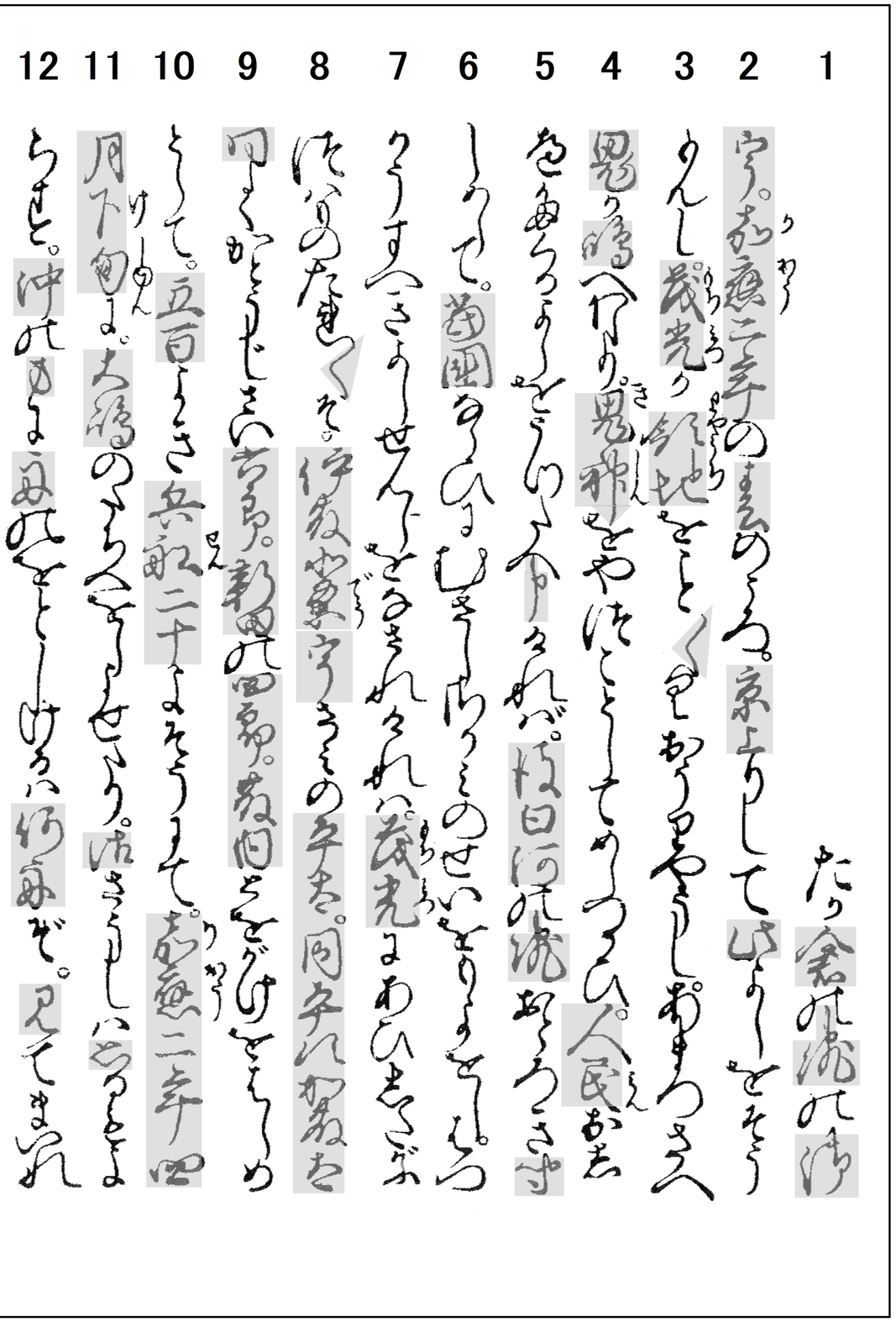
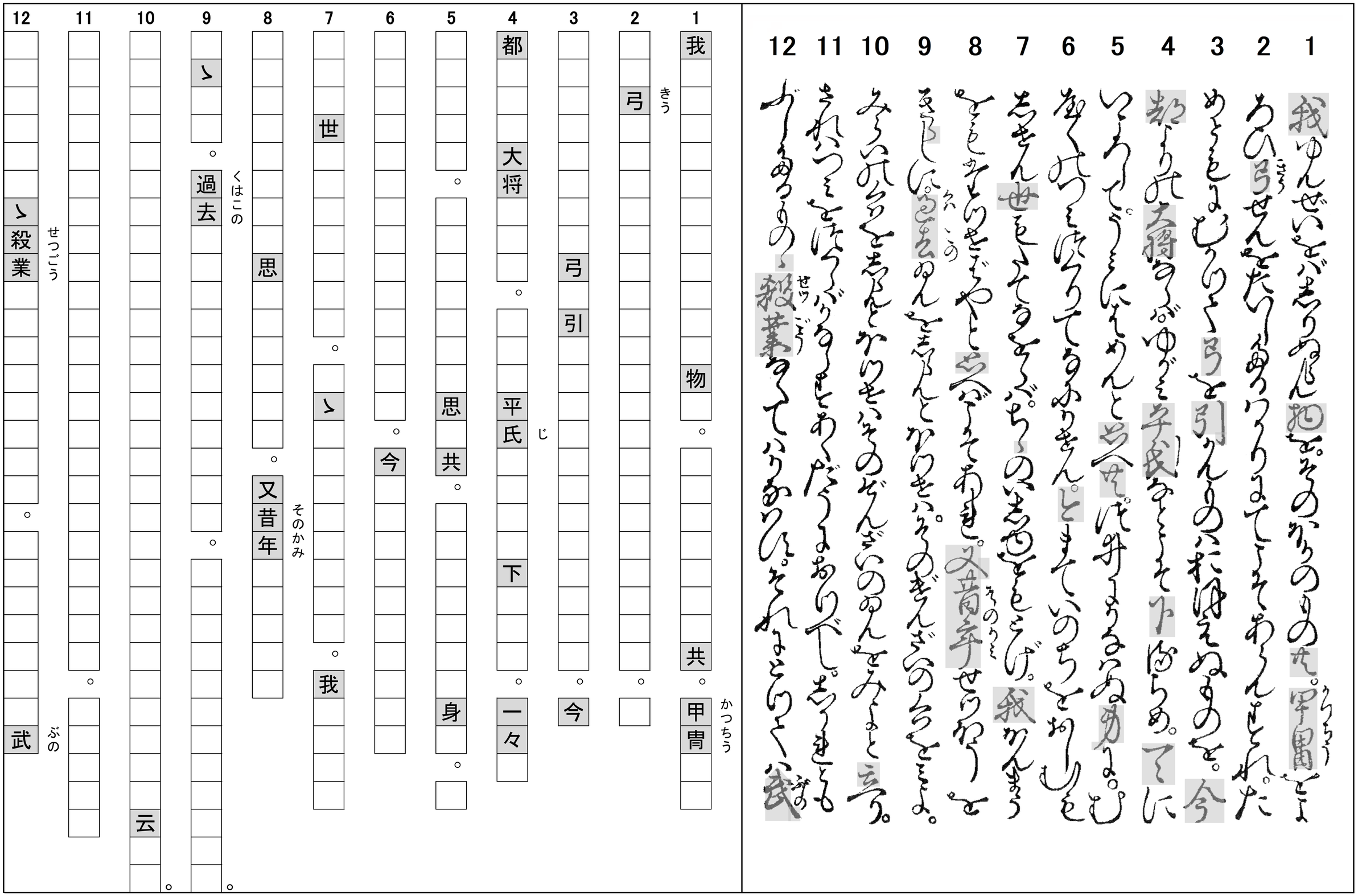
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	宇		鬼					同		月	
	。		嶋							下	
	嘉	。								旬	。
	応	茂	。		。		〈		。		沖
	二	光	鬼		当				五		方
	年	領	神		国		。	六	百	。	舟
	春	地		申			伊	郎		大	
			。				藤	。	兵	嶋	
	。	〈	人	。	。	。	北	新	船		何
	京		民	後		茂	条	田	二		舟
	上			白		光	宇		十		
				河				四		御	。
	此			院			平	郎			見
		。			。		太	。	。	思	
	倉			聞			同	藤	嘉		
	院						平	内	応		
	御						次		二		
							加		年		
							藤		四		
							太				

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	宇		鬼					同		月	
	。		嶋							下	
	嘉	。								旬	。
	応	茂	。		。		〈		。		沖
	二	光	鬼		当				五		方
	年	領	神		国		。	六	百	。	舟
	春	地		申			伊	郎		大	
			。				藤	。	兵	嶋	
	。	〈	人	。	。	。	北	新	船		何
	京		民	後		茂	条	田	二		舟
	上			白		光	宇		十		
				河				四		御	。
	此			院			平	郎			見
		。			。		太	。	。	思	
	倉			聞			同	藤	嘉		
	院						平	内	応		
	御						次		二		
							加		年		
							藤		四		
							太				



1 給。
2 人舟と
3 候申。
4 我。
5 給。
6 兵船ひやうせん
7 大。
8 一万
9 共。
10 思ゝ。
11 一鬼神きじん
12 人民みん
13 不便。
14 何。
15 去。
16 保元
17 勅ちょつ
18 身。
19 共。
20 此十
21 当所主
22 思。
23 出。
24 菊池原田きくち
25 心。
26 其。
27 九国
28 西国。
29 共。
30 我手
31 程。
32 都
33 源平
34 軍兵。
35 共

1 とのもの。あさむ人舟やとをば
2 ましさいわ。我よりつ
3 ごく兵船ひやうせんなりさて
4 きうりとらやあく
5 むりとらとらをとる
6 じ人民をなやまさんを不便なりちからをそむひ
7 てはゆよいかにせんあらん。去ぬる保元よ勅ちょつ
8 ぬりて。面さいの男とうりつ
9 なりく。ひりなのうり。其いせんを九国をとうるやう
10 しき。ちからなきよあるぬ。はたらきて八幡や原田をもつめ
11 そして。西のもの兵。みな我よりこの行ぎりぬん。
12 ゆえて、源平の軍兵。ようしてひきのらるどこ



1 我
2 弓（きう）
3 引
4 都 大 将 平 氏（じ）
5 思 共
6 今
7 世 我
8 思 又 昔 年（そのかみ）
9 過 去（くはこの）
10 云
11 ぶの
12 殺 業（せつごう） 武

1 我ゆんぜいとばかりあんぬ。そのかりのりの。甲冑（かつちう）とよ
2 ろひ弓（きう）せんとたいあつうりよてそあうんとそれだ
3 めとをよしりつを弓を引くりんりのハれはそぬすのを。今
4 都より武大将ぐんゆづを平氏（じ）をそそ下ぬらめ。てに
5 いろうてうこにそめんとやへ。ぬ弁ようるるぬ力よ。む
6 ぬくかつをたうてうありをきん。とまていのちをおしむを
7 ちをんせををてうをそぐぷちうのいををとをとげ。我かんまう
8 をとをかをとりをごやとちへぐそあをを。又昔年（そのかみ）せうわう
9 ををしにぬりをこ（くはこの）ぬんををあんとかりをぬ。そのきんざいのちををよ。
10 みうへ武りをちんとかりをいそのぞんざいのんをみをとと云う。
11 をれつををたうぐりうをとあうぐだうよありべ。ぬうををとも
12 ぐをあうのう殺業（せつごう）をていりありひ。それをとりくへ武（ぶの）

1 道（みち）
2 人
3
4 一心
5 業因（ごうゐん）
6
7
8 此上
9 神
10
11 見
12

道ひがんのをうさうなやつく為朝（ためとも）せんずる事廿（ぢう）也。
人のうちさつの数（かず）をしらんに去（され）ものとうさうす。世ぞ後（ご）うさどうらどとすかとうも。
一心（いしん）地蔵菩薩（ぢざうぼさつ）とねんじてきつるの女子（をなご）稱（しょう）也ぞ。
これ業因（ごうゐん）のうさうとやうれ悪心（あくしん）をうさうきたりぞれとひつこと
こうよりつく。来世（らいせ）をうさうきつ事廿（ぢう）也。
をとをさん者一つひとつの仏道（ぶつどう）をねがひく。念仏（ねんぶつ）をとり也。
此上（このうへ）兵一人（ひとり）をれこのうへをみるおろもしてしぬれをもみる者
弟（おとと）よりてまをとく。あちりのものとのよのくかくをあくへ仏の
えんやなりとく九さいよりけっをとひとせくさうよりを。
それをとんとくえつよりの男子（ぢし）。二つよりの女子をとど母いうひ
てうせよけまどうくねしぞ。矢一ついてこそそろ

10 九
11 男子（なんし）
12 矢一

9 神
10
11 見
12

8 此上
9
10
11 見
12

7
8 兵一人
9
10
11 五
12

6
7
8
9 行
10
11 男子
12

5 業因（ごうゐん）
6 来世
7
8
9 〈
10
11 女子
12

4 一心
5 悪心（あくしん）
6 今此
7 念仏
8 申也
9 嶋
10
11 母
12

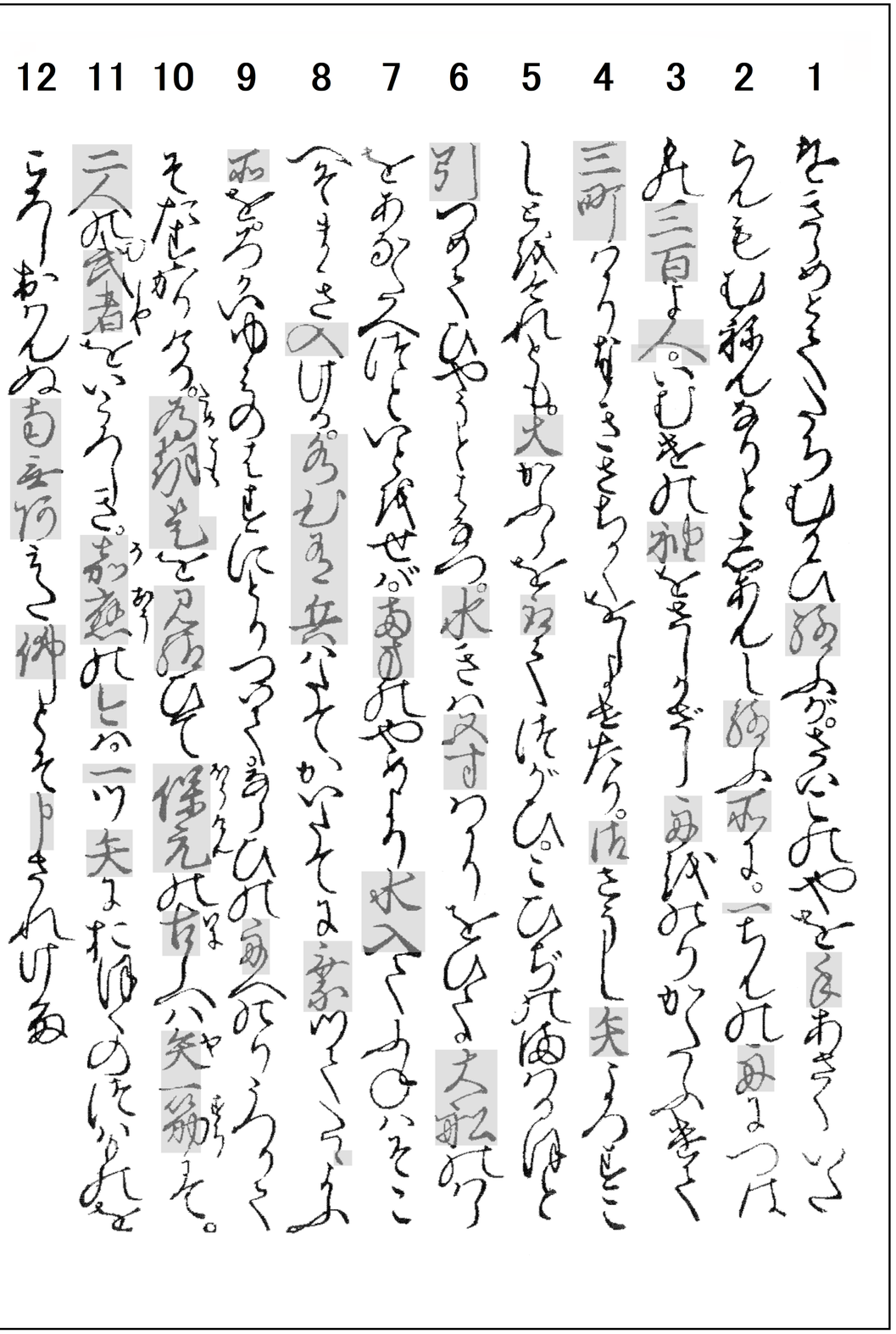
3
4 地蔵菩薩（ちざうぼさつ）
5 今
6
7 仏道
8
9
10
11
12

2 人
3
4 事廿
5 悪心
6
7
8 行
9
10
11
12

1 道（みち）
2 事数
3
4 事廿
5
6
7
8 物
9
10
11
12

1 為朝（ためとも）
2 去（され）
3
4 也
5
6
7
8 具
9
10
11
12

1 ゝ
2 也
3
4 也
5
6
7
8 龍（りう）
9
10
11
12



1 をさめとくしうもしたひ殿のかうにんにやをそあさくいさ
2 らんもむ殿ものとたのんしし殿のかたのよ。一ちんの殿あるつ殿
3 ゑ三百よ人。むをゑ殿袖をそうぐゝ舟ゑ殿のかうかてふきく
4 三町ゝうなさきちうくゝもをたうぬはさうし矢うをとこ
5 しうゑそれとも大かうをうくゝはげひこひげ殿のうはと
6 引つをくひやうとうるつ。水さハ及すつうをひる大船のつ
7 とあるゝ入ゝとゝゝ殿せがあゑ殿やうう水入さゑゑハそこ
8 そゝまさ入けうゑうむる兵ハさてかいそゑ家ゝくさゝよ
9 西をうゝゆゝものををにうつるくゝ舟うゝうくゝ
10 そなをかうゝ為朝を見給ひて保元ハ矢一筋そ。
11 二人の武者というゝさ。おうゑゑ殿ヒハ一ツ矢よゑたはくのたかゑを
12 うゝおうゑゑ南無阿弥陀仏ゝそゝきゑれけゑ

1	給										
2	給	所	。	一	舟						
3	三百人。	袖	舟								
4	三町	。	御	矢							
5	。	大	取	。							
6	引	。	水	五寸	。	大船					
7	。	両方	水入								
8	入	。	水心有兵	乗	ゝ						
9	所	。	。	舟	。						
10	。	為朝是見給	保元古矢一筋。								
11	二人武者（むしや）	。	嘉応今一矢（かおう）								
12	南無阿仏申										

ためとも　ほうけん　いに　や　すち